

～まちの中で、こんなことに気づいたら～

私たちにもできる!

ちょっとした手助けと気配り

まちの中で困っている様子の人や  
とまどっている人を見かけたら

一方的に手助けが必要と決めつけず、  
相手の気持ちを大切にして  
「何かお手伝いすることがありますか」などと、  
まずはひと声かけてください。

手助けを  
求められたら

何をどのようにすれば  
良いのか、相手に  
聞いてください。

視覚に障害のある人に  
出会ったら

安全に歩くための手助け

横断歩道や駅のホームは危険な場所です。  
まわりの状況を伝えましょう。

お店では

ちょっとした声かけで買い物がしやすくなります。  
困っている人を見かけたら、声をかけましょう。

手助けをするとき

何をどうすれば良いか、相手に聞いてください。  
手を引いたり後ろから押ししたりしないで、手助けをする人の  
肩やひじに軽くふれてもらい、半歩前を歩きましょう。



車いすを使う人に  
出会ったら

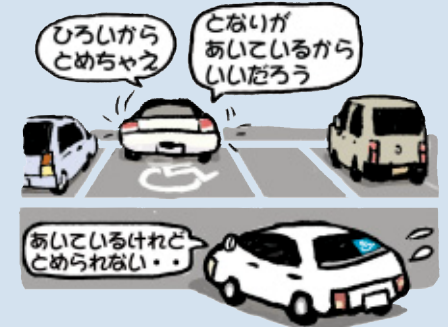
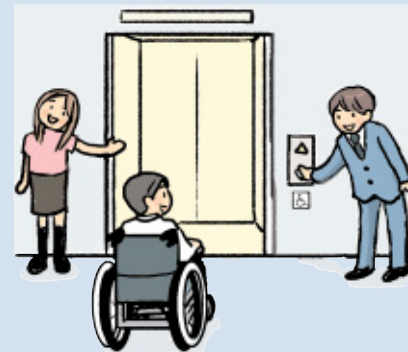
だれでもトイレやエレベーターでは

そこしか使えない人、より必要としている人が  
いるかもしれません。必要としている人を  
優先するように心がけましょう。



駐車場では

車いすを使う人の駐車場は、車いすで乗降できる  
スペースを確保したものです。  
必要がない人は  
使わないように  
しましょう。



手助けをするとき

急な坂道や段差では、手助けが必要な場合があります。  
どうすればよいか相手に聞きましょう。

聴覚に障害のある人に  
出会ったら

聞こえにくい人かもしれません

後ろから声をかけたり、自転車のベルを鳴らしても  
気づかない人がいたら、もしかしたら聴覚に障害の  
ある人かもしれません。相手に気を配りましょう。

手助けをするとき

大切な放送があっても聞こえません。メモを使ったり、身ぶり手ぶりなどで  
情報を伝えましょう。聞こえにくい人には、ゆっくり話しましょう。

